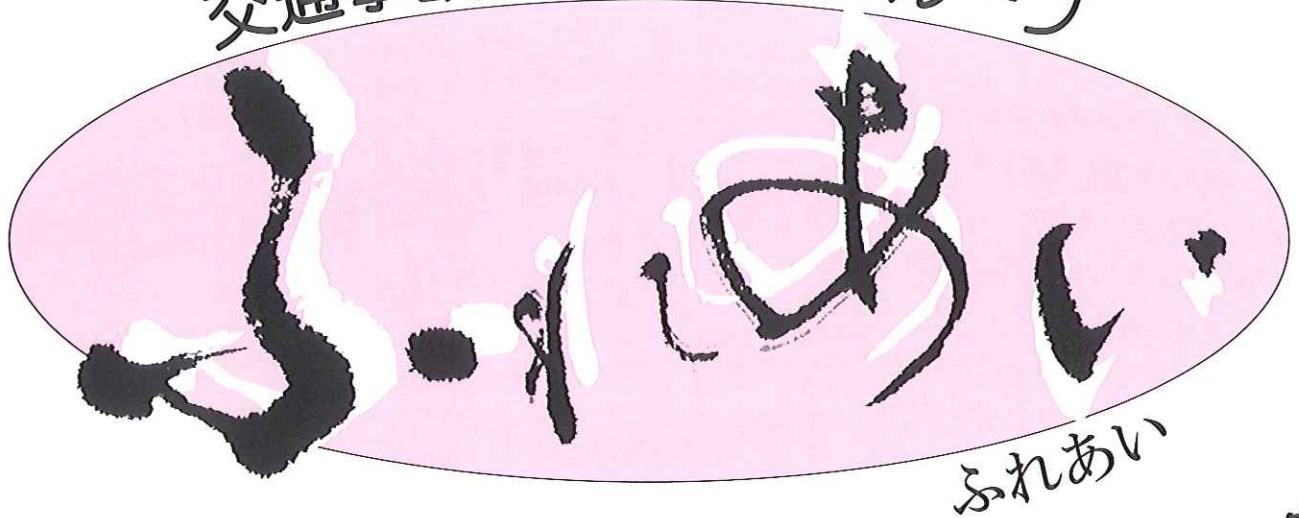


交通事故遺族の自助グループ



自助グループとは

同じようなつらさを抱えた者同士がお互いに支えあい励ましあう中から問題の解決を図ることを目的に集うグループです

誰にも自分の本当の気持ちを話すことが出来ない

何をどうしたら良いのか相談する人もいない

閉塞感がいっぱいでもする気がしない

今後のことについても考える気力もない

世の中すべてがいやになる

ひどいのかえんじませんか

以前のような生活が送れないことに対する不安や苛立ちはありませんか

お互いが安心して話せる場所があることは孤独感や疎外感を軽くしてくれます

よろしかったら共に歩みませんか

岐阜県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体



公益社団法人 特定公益増進法人

ぎふ犯罪被害者支援センター

〒500-8384 岐阜市藪田南 5-14-12シンクタンク庁舎

TEL. 058-275-3933 FAX. 058-213-3933

2002年3月31日 入社式の前日、息子
(22歳)は誰にも別れを言わずひと
りで旅たってしまいました。
以来、時間は止まり生きる気力も無く
呆然としていた時に自助グループ「ふ
れあい」に参加させていただきまし
た。遺族にしか分かりあえない想いを
泣きながら わめきながら笑いながら
話せる癒しの時間はとても貴重でもう
少しだけ頑張ってみようかなと
思う気力を頂いています。

瑞穂市 K

顔が見たい。
声が聞きたい。
抱きしめたい。
願っても願っても願いは叶わない。
何も要らない、お願いだから娘を返して...

神も仏も信じられない。
あれから、4年半、茫然自失の日々。

でも、たくさんの出会いがあった。
まいこからのプレゼントだと、そう思う。

揖斐郡 まいこママ

達哉ーと叫び続けて早7年を迎えようとしている。
あの日から家族の生活すべてが変わってしまった。
いつもいつも僕は達哉に言ってる、バカヤローと。
いつかいつか僕達達哉に言えな、もっともっ
と達哉に会えてよかったなんて言えない、もっともっ
と幸せになるはずだった達哉を見たかった。
そして僕がこの世から去る時に送ってほしかった。

池田町

M

8年の時の流れ

あの日は、いつもの朝と同じく元気な声
で、『おはよう』の挨拶で始まりました。
『久しぶりで休みが取れたので、家族全員
で食事が出来るね』と、それが武志との最
後の会話になりました。
今家族全員で、時々食事をしますが、ここ
に武志もいればなど思い、淋しさがこみ上
げてきます。

岐阜市 T. I

17才の息子を亡くしてから7年半。はた目からは、すっかり
立ち直った私がいる。でも、本当は違う。悲しみも苦しきも
変わらない。同じ立場の方々と思い語り、共に泣き、怒り
、笑い...少し心を休め、元気をもらって、また日常へと
戻って行く。「ふれあい」は、私にとって「心のオアシス」
なのかなと感じている。

岐阜市 Y. K

参加を希望される方は、下記センターまでお問い合わせください

電話・面接・メール相談 月曜日～金曜日 10:00～16:00

フリーダイヤル 0120-968-783 (祝日は除く)

メールアドレス info@gifu-vsc.org

公益社団法人 ぎふ犯罪被害者支援センター